

【プレスリリース】

一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム
一般社団法人 AiCT コンソーシアム
株式会社ブリスコラ

2024 年 9 月 10 日

オープンガバメント・コンソーシアムと AiCT コンソーシアム、 スマートシティにおける API 活用の拡大に向けた戦略を共同策定へ

～利便性の高いデジタルサービスによる新たなデジタルエコノミー創出を目指し、
地域や官民の枠を超えた、スマートシティ API の活用啓発とサービス開発支援の教育コンテンツを策定～

一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム(会長:須藤 修、中央大学国際情報学部教授 / 中央大学 ELSI センター所長 / 東京大学 名誉教授、以下 OGC)と一般社団法人 AiCT コンソーシアム(本社 :福島県会津若松市、代表理事 海老原 城一、以下 AiCT コンソーシアム)は、「スマートシティ API 活用普及に向けた戦略策定協定」を本日 2024 年 9 月 10 日に締結しました。全国の自治体や地域企業がデジタルサービスを普及させ、新たなデジタルエコノミーを創出することを支援するため、両コンソーシアムは共同で戦略を策定し、これまでの活動から得た知見をもとにしたスマートシティモデルの整備、さらにその普及に向けた API(アプリケーション・プログラミング・インターフェース)の活用を啓発します。

AiCT コンソーシアムは、福島県会津若松市を中心に、API を活用したデータ駆動型市民中心のスマートシティに取り組んでいます。また、スマートシティサービス提供に必要なデータの利活用にあたり、API 開発者ポータルを整備し、市民の皆様および地域企業のご協力のもと、API 情報を公開しています。OGC は AiCT コンソーシアムのスマートシティ API を活用し、会津若松市内のみならず、全国各地のスマートシティにおいて新たなサービスの開発を支援するためのサンプルプログラムと教育コンテンツの制作を行い、全国を対象に啓発活動に取り組みます。また、API に特化した事業を展開している株式会社ブリスコラ(本社:東京都港区、代表取締役 末貞 慶太郎、以下ブリスコラ)は、API に関する専門性を活かし両コンソーシアムの会員企業として技術的な側面やアーキテクチャの啓発に寄与します。



左 : AiCT コンソーシアム 代表理事 海老原 城一 / 右 : OGC 代表理事 松口 裕重

■ 背景

全国各自治体や地域でスマートシティが拡がり、多くのスマートシティサービスが展開されています。今後、さらに市民生活の利便性や快適性を高めるサービスを創出するためには、企業と自治体の連携や地域と地域の連携など、官民や地域の枠を超えたデータの活用が肝要です。また、API を活用することで、スマートシティ地域内で提供中かつ使用可能なデータを柔軟に連携することができ、これまでにない高付加価値なサービスの開発や提供が可能になります。そのため、全国に向けた API アーキテクチャの啓発、さらに API 活用によるサービス開発の支援を行うことが必要であると考えています。

OGC と AiCT コンソーシアムの両コンソーシアムは、それぞれの活動領域における知見や会津若松市における API モデルを広く全国に啓発していくため、スマートシティ API の活用普及に向けた戦略を共同で策定することで合意しました。今後、両コンソーシアムの連携による相乗効果を図り、より効率的かつ有益なサービスの開発・提供による新たなデジタルエコノミー創出に貢献していきます。

■ 「スマートシティ API 活用普及に向けた戦略策定協定」の概要

今回 OGC と AiCT コンソーシアムにて締結した「スマートシティ API 活用普及に向けた戦略策定」の概要は以下の通りです。

・ OGC と AiCT コンソーシアムが共同で取り組む意義

スマートシティ会津若松に代表される API モデル (API をベースとした地域 ID 連携の標準化／共通機能の共同利用／複数のサービス連携) を全国に普及・浸透させることで、地域を超えたスマートシティサービスが連動したり、地域サービスと民間のサービスが連動するような新たなデジタルエコノミーの創出を目指します。また、両コンソーシアムにおいて、API モデルの普及・浸透に寄与するコンテンツを整備し、共同で啓発活動を実施します。

・ 各コンソーシアムの役割

- **OGC 実施主導 分科会) サービス・アーキテクチャデザイン分科会** <https://ogc.or.jp/article/6919>
 - 官公庁と自治体のパイプ役として、API モデルでサービスデザインされたアーキテクチャの啓発
 - スマートシティ API を活用したデジタルエコノミー創出に向けた教育コンテンツ・ガイドブックの策定、デモアプリケーション(サンプルプログラム)の開発
 - デジタルサービス事業者に対する API モデルの理解促進 (API の利用の仕方・手続き含む)
- **AiCT コンソーシアム 実施主導 分科会) API ワーキンググループ** <https://www.aict.or.jp/17>
 - 会津若松市のスマートシティにおける先進的な取り組みである API モデルを、全国の自治体や各地域のサービス事業者に向け情報発信し普及活動を推進
 - 会津モデルとして既に公開されている API を集約している API ポータル <https://developers-aizuwakamatsu.api-catalog.jp/#/> の活用による、API 利用の推進
 - OGC に対する API 仕様情報・ID 接続情報の開示

・ ブリスコラの役割について

API に特化した事業を展開しているブリスコラは、OGC サービス・アーキテクチャデザイン分科会のリーダー企業であり、AiCT コンソーシアムの API ワーキンググループのリーダー企業を務めています。両コンソーシアムの一員として、API に関する専門性や先進的なテクノロジー理解を活かし、各活動を支援してまいります。

当協定締結にあたり各代表からのコメントは以下の通りです。

一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム 代表理事 松口 裕重

会津若松市のスマートシティへの取り組みは国内の先進的な成功モデルであり、その推進を担う AiCT コンソーシアムとの協定締結を非常に喜ばしく思います。OGC は、市民に寄り添ったシチズンセントリックなサービスの実現を目指しており、API の活用を通じて新たなデジタルサービスを創出することは極めて重要と考えています。本協定により、全国の自治体への API 活用の普及並びにスマートシティにおける先進的サービス創出につとめてまいります。

一般社団法人 AiCT コンソーシアム 代表理事 兼 アクセンチュア 執行役員 海老原 城一

利便性や快適さの高いまちづくりには、市民の同意(オプトイン)を得た多様なデータをつなぎ、活用することが必要です。会津若松市では、これまで 29 種のデータが API を介してスマートシティデータ連携基盤(都市 OS)に接続され、地域通貨決済やオンライン診療など 25 のスマートシティサービスを実現してきました(2024 年 9 月現在)。このたびの OGC との連携で、会津若松市の先行スマートシティモデルの実績や知見が、全国の自治体や地域企業に広く普及することを期待しています。OGC とともに、市民ニーズに寄り添ったデジタルサービスの創出を支援することで、市民、地域、企業の「三方よし」のスマートシティの実現を推進してまいります。

■ 一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム について

OGC は、2009 年 4 月の設立以来、2013 年 4 月 1 日に一般社団法人となり、現在に至っています。デジタルの視点から社会のあるべき姿をオープンに議論し、市民・利用者の視点に立ったサービスの実現を目指して活動を続けています。このため政府や地方公共団体に対して、政策提言を行うとともに、デジタル政策に関わる府省庁との継続的な議論を重ね、政策立案に寄与しています。民間の立場からこれを支援・促進することを目的に、①新たなデジタルガバメントおよびデジタル自治体のあるべき姿に関する提言、②日本独自の先進的なスマートシティモデルの創出とその実装支援、③これらに必要となるデジタル領域を中心とした人材育成に関する提言、に重点を置いて活動に取り組んでいます。これらの新たな政策やサービスの創出は、国民および利用者の利便性向上を促すとともに、民間企業にとっても新たな市場拡大の機会を提供します。OGC は今後も積極的にこれらの活動に取り組んでまいります。活動目的や詳細については、こちらをご覧ください。<https://ogc.or.jp/aboutogc>

■ 一般社団法人 AiCT コンソーシアムについて

AiCT コンソーシアムは、オプトインによるデータ活用とパーソナライズによる市民中心のスマートシティ実現に向け、国内外の有力企業、会津地域の企業や団体など、90 以上の会員企業・団体で構成されているコンソーシアムです。2011 年に会津若松市・会津大学・アクセンチュアの産学官連携で始まった、東日本大震災からの復興に向けた取り組みを端緒として、先進的なスマートシティの取り組みが進み、多数の企業が会津若松市に集積したことを受けて、2021 年に設立されました。会員企業・団体は、スマートシティのデータ連携基盤となる都市 OS を軸に、ヘルスケア、防災、データ利活用、ものづくり、エネルギー、教育、食・農、観光、行政、決済、モビリティインフラ、サーキュラーエコノミー、API、コミュニケーション領域など、幅広い分野のスマートシティサービスを、組織の枠を超えて開発、運用しています。本コンソーシアムでは、会津地域で 10 年以上をかけて培われた知見、プラットフォーム、ネットワークをもとに、会津における地域 DX(デジタル変革)を目指すとともに、日本のあるべきスマートシティのモデルとして全国に発信しています。会員企業の詳細は、AiCT コンソーシアムの Web サイトをご覧ください。<https://www.aict.or.jp/company-list>

■ 株式会社ブリスコラについて

<https://www.briscola.co.jp/>（企業サイト） <https://briscola-api.com/>（ブリスコラ API 事業専用サイト）

株式会社ブリスコラは、デジタルテクノロジーを活用した幅広いアプリケーションやサービスを実現するために重要となる API ソリューションに特化した事業支援会社です。OSS Kong Gateway をベースにしたフルライフサイクル API 管理製品「BAMs Series」を自社開発し、API 管理に必要な機能を包括的に提供しています。また、API 利活用に関わるコンサルティングや API プラットフォームの構築支援も行っており、これまで多くの導入実績を有しています。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【当発表に関するお問い合わせ先】

一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム(OGC)事務局

Mail : info@ogc.or.jp

一般社団法人 AiCT コンソーシアム事務局 (担当:満田、齋藤)

電話 : 0242-88-5855 Mail : sac-support@aict.or.jp

株式会社ブリスコラ 広報部

電話 : 03-6441-2614 Mail : press@briscola-api.com